

予算決算審査委員会 総務産業分科会報告書

平成29年10月26日

備前市議会議長 鵜川晃匠 殿

総務産業分科会
主査 山本恒道

平成29年10月26日に分科会を開催し、次の議案を審査したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	備 考
議案第82号 平成28年度備前市一般会計歳入歳出決算の認定について中、 総務産業分科会所管部分のうち、まちづくり部ほか関係	—

<報告事項>

- 台風21号による被災状況について（まち整備課）

予算決算審査委員会 総務産業分科会記録

招集日時	平成29年10月26日（木）	午前9時30分		
開議・閉議	午前9時30分	開会　～	午後0時10分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	閉会中の開催		
出席委員	主査	山本恒道	副主査	森本洋子
	委員	尾川直行		津島　誠
		守井秀龍		川崎輝通
		石原和人		
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	鵜川晃匠		
	委員外議員	なし		
	紹介議員	なし		
	参考人	なし		
説明員	まちづくり部長	中島和久	里海・里山課長	坂本基道
	まち営業課長	芳田　猛	まち整備課長	淵本安志
	上下水道課長	梶藤　勲		
	日生総合支所長	大道健一	吉永総合支所長	金藤康樹
	シティセールス推進課長	田原義大		
傍聴者	議員	山本　成	星野和也	
	報道関係	なし		
	一般傍聴	なし		
審査記録	次のとおり			

午前9時30分 開会

○山本委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席は7名です。定足数に達しておりますので、これより予算審査委員会総務産業分科会を開催します。

開会に当たりまして、総務産業委員会の所管ではありますが、まち整備課からの報告がありますので、この際お受けいたします。

○淵本まち整備課長 それでは、先日の台風21号による被災状況について報告させていただきます。

被災箇所は、2件でございます。

まず、西片上地区、国道2号真光寺から緑陽高校へおりの市道片上52号線にて崩落がございました。現在、通行どめとなっておりますので、復旧作業を行っております。通行どめ期間は、11月17日までを予定いたしております。

それから、東片上天神地区、市道113号線の路肩の崩落でございます。こちらにつきましては、通行には支障になっておりません。今後、修繕にて対応する予定といたしております。

○山本委員長 報告が終わりました。

○尾川委員 今の報告で、苦情が出とんですわ。もう処置しとると思うけど、表示が明確にされてねえと。確認してねえけどちよろっと通ってみて、どうもはっきり通行どめというものもなかったけど、その辺はどうなっとんかな。

○淵本まち整備課長 崩落が確認されたのが日曜日でございますして、急遽業者をお願いしたんですが、日曜日には通行どめの看板が出ていなかったかと思います。翌日の月曜日には、看板を設置させていただいております。

○尾川委員 何カ所つけとったん。

○淵本まち整備課長 国道2号とそれから下の市道でございます。

○尾川委員 市道というてどこの、市道何号線というたりしてようわからんけえ。市道の何カ所をしとるわけ。

○淵本まち整備課長 市道は1カ所です。

○尾川委員 あそこは、アルファから行く道と、流川から行く道があるわけじゃ。それと和気から来るわけじゃ。そのあたりはどねえしとったん。

○淵本まち整備課長 交差点の部分に1カ所だったと思います。

○尾川委員 前からこのことだけじゃないんじゃ。大内のほうでも苦情を聞いたこともあるし、ちょっと俊敏に対応してもらおうようにしてほしいんですけどな。

○淵本まち整備課長 はい、以後、そうするように指示いたします。

○山本委員長 それでは、先日の委員会で答弁が保留されておりますので。

○田原シティセールス推進課長 シティセールス推進課から、先日の総務産業分科会でお答えを

保留させていた2点についてお答えさせていただきます。

1点目ですが、決算書193ページになります。

文化財保護費の報酬、資料調査等謝礼2万7,200円についてでございますが、関係者4名から備前焼の日本遺産登録申請に係るアドバイス、御意見等をいただいた際のお礼の品として、備前焼関係の書籍4冊を購入した費用でございます。

また、2点目でございますが、備前焼ミュージアム館蔵品に係る評価等についての御質問がございました。調べてみますと、館蔵品は現在288点、借用品が229点で、合計517点でございます。これらについては、全ての評価額を算出してはおりません。動産保険の対象としている人間国宝の作品であるとか県の重文の作家の作品については、評価委員会等で評価額を出しております。ちなみに、館蔵品については17件評価しておりまして、評価額の合計が1,275万円、また借用品については59件を評価しておりまして、評価額が4,550万円となっております。まだ、台帳に記載されていないようなものもございますので、現在、台帳整理等を実施しているところでございます。

○尾川委員 皆さん記憶しとろうけど、あそこは泥棒に入られたんじゃ。もう非常にイメージが悪いわけじゃ。そんな泥棒が入るような館に貸してくれるということはないと思うんじゃ、恐らく。耐震もあるけど、それよりもそういうイメージが悪くなるから、慎重に防犯ということにまず対応を。今、館蔵品も結構な評価をしてくれとるけど、お金に換えられんようなものがあると思うんじゃ。もう唯一なものでね。だから、その辺の防犯対策というのはどう考えとんかな。

○田原シティセールス推進課長 現在、防犯システムとして防犯カメラの設置、また施錠に関してはセコム等の防犯対策を実施しております。職員にも、努めて施錠管理、備品の管理等を徹底するように指示してまいりたいと思います。

○尾川委員 セコムとか防犯カメラもええんじゃけど、取られてからじゃ遅いんじゃからね。だから、やっぱり防犯対策をきちっとやるということ。犯人が捕まったって物はどうなっとんか、まだ売らずに置いとる場合もあろうし、いろんなケースがあると思うけど、一遍調べて、何千万円という話が出てきたんじゃけど、それで狙うということもあり得るから、そういう面で防犯対策、自己防衛するという視点で考えてほしいと思うんじゃけど。

○田原シティセールス推進課長 御意見を踏まえて、防犯対策について検討してまいりたいと思います。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、報告を終わります。

これより議案第82号のうち、まちづくり部ほか関係の審査を行います。

審査はお手元の所管別分類表により歳入から行います。

ページは20、21ページの交通安全対策交付金からです。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、20、23ページ、分担金及び負担金の負担金です。

○守井委員 23ページの農林水産業費分担金なのですが、単独事業分担金、小規模土地改良事業分担金、それから県営事業分担金、これらの件数とその分担率を教えてくださいと思います。

○坂本里海・里山課長 まず、単独事業分担金です。これは木谷用水路改良工事に対する分担金1件で30%になっています。続いて、小規模土地改良事業分担金は、坂根水路改良工事に対する分担金1件でございまして、10%の分担率になります。最後に県営事業分担金につきましては、吉永町南方新柳井堰改修工事に伴う分担金1件で10%の分担率になっています。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次に、24、25ページの使用料及び手数料、使用料、農林水産使用料。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、24、25、14の使用料及び手数料で、使用料で商工使用料。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、24、25ページの使用料及び手数料、使用料で土木使用料。

○守井委員 土木使用料の行政管理住宅使用料なんですけど、徴収率が85.9%ということで若干上がってんですけど、かなりの滞納も見受けられます。どういう滞納対策をやられているかお聞きしたいと思います。

○淵本まち整備課長 滞納対策につきましては、催告書の送付、電話での連絡、それから戸別訪問、または来ていただいている協議という対応となっております。

○守井委員 それはもう今までと同じことですが、特に変わってやっているようなことはないんですか。

○淵本まち整備課長 現時点では、特に変わったことはやっておりません。

○守井委員 長期にわたって滞納している方もおられるようなんですけども、保証人制度もあるという中で、滞納対策というのは何か考えられないんですかね。

○淵本まち整備課長 どうしても、市営住宅の場合は福祉施策的な部分もございまして、なかなか強引な対策というのがとりにくい状況になっています。そういう中で、来年度以降、何か新たな施策がないかということで、他市の状況を調査しているところであります。

○守井委員 滞納率がずっと若干伸びておるんですけども、やっぱりきちんと払っていただくための検討策を、昨年はこうやって上がった、またそのプラスアルファというようにぜひ考えて検討をお願いしたいと思うんですが。

○淵本まち整備課長 検討していきたいと思います。

○守井委員 お願いします。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、次に、28、29ページ、使用料及び手数料、手数料、農林水産業手数料。

○尾川委員 船員手帳交付手数料が増額になっただけですけど、何が原因でふえてきたんですか。

○大道日生総合支所長 昨年度、23件でございました。航行報告、船長からの証明願が39件ございまして、かなりの増になっていると思います。船員手帳につきましては、新規もあつたり書きかえもあつたりしますので、船員の動向というのはこれではわかりかねますが、現状ではそういうことになっております。

○尾川委員 船員の動向というのはこれじゃわからんということ。

○大道日生総合支所長 はい、これではわかりかねます。

○尾川委員 そんなら、船員の数というのはどのくらい。赤穂とか市外もあるらしいんじゃけど、備前市内の船員の数がふえてきたんかなという見方をしとるわけなんじゃ。そういうデータは出てねえわけ。

○大道日生総合支所長 手元に資料がございませんので、また海運組合等に聞き取りを行いまして、後日、総括までにはお示ししたいと思います。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、28、29ページの使用料及び手数料で手数料、土木手数料。

○守井委員 土木手数料の一般管理手数料なんですけど、交付手数料が67万円ほど入っているんですが、これは。

○淵本まち整備課長 こちらは、屋外広告物の許可権限に基づく手数料でございます。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、32、33ページ、国庫支出金、国庫補助金、衛生費国庫補助金の1節。

○守井委員 環境衛生費補助金なんですけど、かなり昨年と比べてふえていますが、件数等を教えていただけたらと思います。

○梶藤上下水道課長 委員御指摘のとおり金額はふえております。件数は33基でありまして、件数はふえていないんですが、なぜふえたかといいますと、こちらの交付申請を7年間まとめて行っております。通常の交付申請ですと、年度ごとの精算なんですけど、こちらの交付申請は最終年度に精算を行ったもので、この増額となっております。

○尾川委員 社会資本整備総合交付金というのがかなり増額になって、内容を教えてもらえたら。

○淵本まち整備課長 277万円のほうにつきましては、住宅の耐震診断の補助金、吉永総合支所の一部解体に伴う補助金、それから備前焼ミュージアムの耐震診断に伴う補助金になっており

ます。

それから、もう一点の627万円のほうにつきましては、内容的には市営住宅、福田団地のガス管の改修工事をやっております。そちらの工事、設計に伴う補助金、それから昨年度、空き家対策の実態調査を行っております。そちらに対しての補助金が入っております。

○尾川委員 市営住宅、去年は福田だけじゃったんですか。

○淵本まち整備課長 昨年度は、福田団地のガス管の改修工事でございます。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、次に、38、39ページの県支出金、県補助金、衛生費県補助金の4節です。

○守井委員 せっかくだから、件数。さっきと一緒になるのかな。

○梶藤上下水道課長 先ほどの件数と同じで、33件になります。

○山本委員長 次に、38ページから41ページ、県支出金、県補助金、農林水産業県補助金、5節中、公共空間木質化推進支援事業補助金を除く。

○守井委員 林業振興費の補助金で、鳥獣被害防止総合対策交付金が去年に比べて3分の1ほどのかなり減額になっているんですが、理由がわかれば教えてください。

○坂本里海・里山課長 27年度に有害鳥獣処理施設をつくりましたので、その費用がなくなったのが一番大きな要因でございます。

○守井委員 この間からその機械がうまく動いていないような話があったんですけど、どんなですか、現在は。

○坂本里海・里山課長 以前も御指摘があったんですけど、7月中旬からは試験的に回しております。今でもなるべく機械に負荷がかからないよう大量投入せずに運営をしております。

○守井委員 できておるんですね。

○坂本里海・里山課長 はい。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、40、41ページ、県支出金、県補助金、土木費補助金で。

○尾川委員 41ページの都市計画総務費補助金で、木造住宅耐震診断事業費補助金、増額理由をまずお聞きしたいんですけど。

○淵本まち整備課長 こちらにつきましては、耐震診断または補強計画を作成した際の県からの補助金になりますので、件数によってふえております。

○尾川委員 いろいろその考え方なんですけど、今後の問題として希望するものはすりゃあええで「広報びぜん」で広報したりして補助金がありますよということなんだけど、火事とあわせて地震という問題で、今後、どういうふうに補助金がある範囲内で市民にPRしていこうかと。あるいは、市としてはやはりこれから耐震の問題で積極的に取り組みしようという辺の考え方とい

うのは、国がやっとな、県がやっとなという補助程度で考えとんか、その辺をちょっと聞かせてもらえたらと思うんですけど。どういう対応をしていこうとしとんかという。

○淵本まち整備課長 こちらの補助金につきましては、県からの補助金ということで、診断とか補強計画ということになっておりますが、今のところまだ県、国の補助金で改修に伴うような補助金というのが余りありませんので、今後、住宅リフォームとかの補助金とあわせて考えていくようになるのではないかと思います。

○尾川委員 ちょっと私、記憶が定かじゃねえんじやけど、その辺のリフォームの問題で監査委員の指摘がありやあせなんだかと思うんですけど、将来的な考え方として、耐震診断をして耐震リフォームをしていくというところにつながっていきやあええと思うんですけど。

○中島まちづくり部長 監査委員から、単なる住宅リフォームというのであれば、やはり住民の安全・安心を守れないといった御指摘がございました。我々も、一、二年ほど住宅リフォームをやる上で、やはり市の制度として耐震といった制度もございますので、それを取り入れた住宅リフォームの改修といった制度も一つつくるべきではないかと思っております。単なる住宅リフォームの改修のみならず、その目的に応じて選択できるような制度設計ができればなといった形で、今、担当課を交えてどういうふうにしたらより市民の安全・安心が守れるかということで、近い将来、南海トラフの巨大地震が発生するといったこともございます。国のほうも、地震保険といった制度の普及活動にも努めておりますので、そういったことも見据えながら、住宅リフォームをより市民の安全・安心のために活用できればなというふうに思っております。

○尾川委員 ぜひ、そういう方向で来年の予算も考えてもらって、少しでも一方でも安全・安心のための施策をやってほしいと思います。

○川崎委員 空き家除却の補助金は、どのくらいの件数だったんですか。

○淵本まち整備課長 昨年度は25件でございます。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次に、42、43ページ、県支出金、県補助金、災害補給費県補助金で何か。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

42、45ページで県支出金、県委託金、商工費県委託金で。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

44、45ページ、県支出金、県委託金、土木費委託金で何か。

○尾川委員 土木費の県委託金の港湾管理費委託金、これが過去を見たら下がってきとる。昨年はちょっと上がったかなということですけど、どういう理由で上下するんですかね。

○淵本まち整備課長 こちらにつきましては、片上港、それから鶴海のプレジャーボート等の施設の管理に対するものでして、どうしてもその利用の状況によって上下しております。

○尾川委員 要するに、利用者がふえんと金額が上がらんという仕組みになつとるわけ。

○**淵本まち整備課長** はい、そうでございます。

○**尾川委員** 要するに、プレジャーボートなんかだったらあるスペース、エリアを使うということとというんじゃないしに、その中の船の数とかで上下するわけ。

○**淵本まち整備課長** プレジャーボートも船の数になります。それから、片上埠頭とかも利用された船舶の数によります。

○**川崎委員** 関連で、特に日生市民会館の県の施設、あきが多いんじゃないのかなあという感じなんですけど、それぞれの地域の使用率、どれぐらいとめられるか、それに対して今実際とめている船の数がどれぐらいなのか。その上下によって収入が変わってきていると思うんですけど。

○**淵本まち整備課長** 鶴海地区につきましては小型39隻、大型42隻の81隻の利用になっております。

○**大道日生総合支所長** 日生は、梅灘、吉ヶ浦、あわせて大型29隻、小型22隻。合計51隻でございます。

○**川崎委員** 日生でどれぐらいとめられるん。

○**大道日生総合支所長** 梅灘地区、82件中37件の利用、吉ヶ浦地区、52件中14件の利用ということで、係留可能数は合計で134分の51の利用でございます。

○**川崎委員** 市民会館の下が、ほとんどあいとんじゃねえんかなという感じになつとる。前、ほとんどいっぱいだったと思う。

○**大道日生総合支所長** 市民会館の前につきましては、土砂が埋まって浅くなっているということがございまして、新規艇については許可をしていないんです。継続船舶しか使っていないというような状況がございまして。

○**川崎委員** わかりました。

○**山本委員長** ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、次に行きます。44、45ページの財産収入、財産運用収入、財産貸付収入は別紙です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、44、47ページ、財産収入、財産運用収入、利子及び配当金も別紙です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、46、47ページ、財産収入、財産売払収入、物品売払収入も別紙です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、50、51ページの繰入金、基金繰入金、中山間地域保全基金繰入金で何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、52、53ページの諸収入、貸付金元利収入、労働融資貸付金元利収入で何か。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、54、63ページで諸収入、雑入、雑入も別紙です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、28年度の歳出、74ページから79ページ、総務費、総務管理費、企画費、13節中、企画政策調査委託料の一部で何か。

○守井委員 企画政策調査委託費の一部というようなことになっているんですが、まちづくり部関係は何がその一部になるんですかね。

○淵本まち整備課長 道の駅適地調査業務208万8,000円ということでございます。

○川崎委員 調査は前からずっとやりよんじゃけど、結局ここにしようというのはないままじゃねえんかな、何年間も。今はもう道の駅が直売店ということで、すごく全国的には評判がいいということなんですけど、備前市の場合、国道2号があるのになんかというの少しバランスを欠くんじゃないんかな、観光客に宣伝する意味で。結論は出てないんでしょう。

○淵本まち整備課長 まだ、結論には至っておりませんで、適地について打診をしているところであります。

○川崎委員 その調査によって何カ所適地らしきところが選ばれたんでしょう。

○淵本まち整備課長 一応3カ所を調査しておりまして、今は国道2号沿いということで1カ所、地元とこの後協議をする予定としております。

○川崎委員 岡山県は果物の産地でありながら、備前じゃなくても、モモ、ブドウを含めて、やはりそういうものを置けば十分いけるんじゃないんかなあと思うんですけど。そうしたら、それを機会に備前市の観光パンフを置いて、持って帰ってもらうだけでもすごく効率的な宣伝効果だと思います。何せ、北は北海道から九州までのトラックが走りようるわけね。だから、そういう意味ではトラックがとまれないような道の駅ではなかなか宣伝効果も薄いんかなあ、お客のとりも悪いんじゃないんかなあとか考えたりするんですけど。企業誘致もええんやけど、ぜひ、これはお客がストレートに来てくれる施設なので、早く決めて早く工事することが地域活性化の本当に大きな起爆剤になるんじゃないんかなあ。私、以前、今あるマルナカの位置が最高の適地だと一般質問か何かでもしたんじゃけど、結局そういうものはマルナカの社長のほうが敏感なんかなあ。いつの間にやらマルナカが店を出したということで大ヒットじゃないですか。この地域じゃあ、一番ようお客が来よるといふ話ですから。平日はそう大したことと思いませんけど、土日なんかはもうほんまに観光名所じゃないかというぐらい来ているようですから。今さら、もうあそこは無理なんで、ぜひ国道2号かどこか、交通の重点だと思われるところはやっていただきたいということを要望しておきます。

○尾川委員 関連で、質問の内容が適切じゃねえかもわからんんですけど、もう具体的に言え

ば、道の駅をつくるためじゃと思うんじゃけど大ケ池を埋め立てるというたりして、そういううわさがあるんじゃけど、議員へそういう情報は流してもらえんのかな。本当かうそか知らんよ。市のほうから、大ケ池を埋め立てしてもええかと了解を言うたりする話があるわけじゃ。決算と関係ねえかも知らんけど、でもただ、どうしていくんならということで考えたときにちょっと聞きたいんですけど。

○中島まちづくり部長 市として、実際に大ケ池の地元の方に、こういったところへ設置してはどうかというような御提案はさせていただいております。ただ、やはり池の管理上とか、それを実際に埋め立てた場合、どういった水の影響があるとか、ため池でございますので、そういったもろもろの問題もございます。そういったことをしっかりと踏まえてどうするかというのをしていかなければいけないのかなということで、まずはそこありきじゃなくて、そこでした場合はどういった影響があるのかとか、そういったものを今後調べていくというような状況になります。ですから、今ここでやるんだという決定ではございませんので、やはりいろんな施設をつくるときには、さまざまないろんなところの調査をして、そこが実際に地元の方が協力していただけるのかどうか打診をする。そして、ある程度、ここで行けるんじゃないかなとなれば、きちっと議会のほうにも報告すべきではないかと理解しておりますので、今はまだ不確定な要素がたくさんあるといったところですので、今言ってしまったんですけども、公表については、慎重にしていきたいと思っています。

○尾川委員 要は遠回しに言ようけど、調査費用の中に今の話があるんですかということと言ようわけじゃ。

○淵本まち整備課長 調査費用の中に、今の部分での調査費用は入っておりません。

○尾川委員 また要らん話するんですけど、正確な情報じゃねえんじゃけど、今あの倉庫が建っているあたりへもともと道の駅ができるといううわさがでえええ立ったわけ。じゃから、適地じゃとは私は思うから、今倉庫なんかは余り要らんようになってきて、かなり稼働率が下がってるから売ってもええよというたりする話があるのかなあとと思ってね。あわせて、その大ケ池を埋めたりするのは、私は余りすかんのやけど、それは個人的な話で、そういうことがあるのかなあと、ちょっといろいろ総合的にその予算の中に入らなかつたんかなあと。本音はある程度、市長の考えが私はわかっただけで、それがちょっと聞きたかったということなので。どの程度情報を流してもらえるかというのはわからんのやけど。

○淵本まち整備課長 済みません、先ほどちょっとなかったと言ったんですが、簡単な絵を昨年度の委託料の中で描かせていただいております。

○川崎委員 先ほどの続きなんですけど、あそこははっきり言うてれんがの粉の倉庫が並んでいて、イメージがよくないわけですよ。それが道の駅になれば全然波及効果が違ってくると。そういった意味では、あと、企業団地にどれぐらい土地が残るとんかよくわからないんやけど、移転補償をしてそちらへ移ってもらってそこを道の駅にさせてもらえんかとか、その考え方は必要じ

やないんかなあと。やっぱり、倉庫としての効果というのはないわけで、ほとんど企業にとっても。倉庫なら、大きい道さえありゃあ、国道の近くでいいわけですから、同じようなことが日生駅前にもあるんやけど、どこかのトラック会社がトラックぐらいしか置かないような一等地があるんですけど、やっぱり切りかえの発想、そこに金をかける十分な価値があるということと、私は大ケ池、ある程度駐車場が必要なら埋めるのではなく、一本一本、新幹線と同じようにコンクリーの柱でその上に鉄板を引くなりして駐車場をつくれれば。農業関係に詳しくありませんけど、たしか、ため池というのは、余り水温が上がらんほうが水田にもいいと聞いたことがあるんですよ。だから、そういう意味では、全部ふたをするということがいいかどうかわかりませんが、一部スペースを作るためにそういう柱を打って駐車場なりにするという必要だと思うし、逆に今ある倉庫なんかを立ち退いてもらえれば十分スペースがあるということなら別にもう大ケ池は全く使う必要もないし。やっぱり、それぐらいの覚悟でやって、水田を埋めて企業団地をつくらうという割にはそういう発想の切りかえはできないんかなあと、率直に思うんですよ。その辺について、部長どう思います。

○中島まちづくり部長 本当に我々にはちょっと思いつかなかったような発想で、ありがとうございます。その辺も踏まえて、再度検討していきたいというふうに思います。ありがとうございました。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ないようでしたら、82、87ページ、総務費、総務管理費、地域振興費も別紙です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、124ページから129ページ、衛生費、保健衛生費。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、124、129ページ、衛生費、保健衛生費、保健衛生費総務費、28節中、飲料水供給事業特別会計繰出金で何か。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、128、131ページ、衛生費、保健衛生費、環境衛生費、19節中、浄化槽設置整備事業補助金、28節浄化槽整備事業特別会計繰出金で何か。

○守井委員 131ページの浄化槽設置整備事業の補助金なんですけど、市内の下水道整備の中で、公共下水、特環下水、それから農集、いろいろあると思うんですけど、あと残ったところが浄化槽整備というようなことになると思うんですけど、その地域で浄化槽の設置の整備率を把握できているのかどうかを聞きたいんですけど。

○梶藤上下水道課長 全体で整備しないといけない件数が2,220件、浄化槽を設置しているのが1,155件、整備率は52%になります。大字単位で、畠田が54.5%、坂根が31.

3%、福田が53.4%、関谷が59.6%、木谷が94.3%、伊里中が39.1%、蕃山が60.9%、麻宇那が57.8%、穂浪が40%、鶴海が43.9%、佐山が42%、三石が52.8%、野谷が12.5%、八木山が46.6%になります。

○守井委員 また後でいいですから資料としてもらえますか。

○梶藤上下水道課長 わかりました。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、138、139ページの衛生費、上下水道及び簡易水道費で何か。

○守井委員 水道事業会計繰出金1,320万円なんですけど、繰出金というのは法的に必要なんですかね。黒字であれば必要ないんじゃないかという感じもするんですけど。

○梶藤上下水道課長 基準内の繰出金をいただいております。一部、高田、三国の簡易水道を統合いたしましたので、そちらの企業債償還の負担分と、あと消火栓の維持管理等の繰出金をいただいております。

○守井委員 黒字ですから結構ですというようなことは言わないんですか。

○梶藤上下水道課長 基準でいただけるものなので、いただいております。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次に、138ページから141ページ、労働費、労働諸費で何か。

○尾川委員 139ページの報償費の表彰記念品で6万6,528円があるんですけど、減額理由はなんですかね。

○田原シティセールス推進課長 6万6,528円の内訳なんですけど、市長表彰が16名。記念品を変更しております。体脂肪がはかれる体重計にしたということもありますし、推薦いただいている対象者が減少しているということがございました。

○尾川委員 結局、単価が下がったということ、1人当たりの、人数も減るとるんかもしれんけど。

○田原シティセールス推進課長 主には、人数が減ったということです。23名から16名に減ったということが大きな原因でございます。

○尾川委員 ということは、対象者がおらんということ、結局は。

○田原シティセールス推進課長 こちらにつきましては、市長表彰の功労者表彰の推薦がございます。その推薦に基づいて、こちらで検討して決定をしますので、推薦数が少なければ少なくなるという状況になります。

○尾川委員 要するに減ってきてるとということは、何年以上勤続とかという規定があって、会社が推薦してこんのじゃと思う。だけど、それなら基準を変えたり、今、もう定年まで働く人が少なくなるとるというて一般的には言われるわけじゃけど、そうすると20年、30年とか勤務が

できん、そういう状況じゃなくなってくると。だから、例えばほかの企業と積算して表彰対象にするとかという考え方が必要なんじゃないかという感じがするんじゃないけど。少のうなったら表彰が少のうてええという考え方もあるけど、やっぱり、きちっとした市長表彰というたら権威があるものじゃからそれだけのものやってくれよという話を総務のほうでもしたんです。だから、表彰基準の見直しね。ただ、市と耐火物協会と商工会議所といろいろ基準があるからその整合性もあると思うけど、その辺の検討というのは余りまだ考えてないわけ。

○**田原シティセールス推進課長** 基準を変えるかどうかについては、今後、検討をしていくことかなと考えております。

○**尾川委員** せっかく表彰をするのに、対象者が少のうて、何でもかんでも表彰せえというんじゃないねえんですけど、やっぱり権威をつけるためにはどんどん表彰しちやりやあええという意識を持つとんですよ。とにかく表彰受けさせるようにせえと。そうしたら励みになると、頑張ってもらいてえと。備前市の産業に貢献してやってくれようわけじゃから、だからその辺の検討もぜひやってほしいと思うんですけど。要するに、定年まで働くという時代じゃないというんじゃないけど、なかなかそうは言ったって労働者がぱっぱぱぱ変わるということはできんけえね、現実的には。

○**中島まちづくり部長** 委員さんが言われるのも、もっともだと思います。今回は勤続20年以上ということで、各企業さんへ推薦をお願いしております。その結果、16名ということで市長表彰を行っております。その勤続年数を上げるか下げるか、そういったいろんな議論があるかとは思いますが、それは別として、委員さん言われるように本当に長いこと一生懸命働いた方を少しでも表彰していくということで、我々のほうも企業さんをお願いするときに一人でも多くの方を推薦していただきたいとお願いしてまいりたいと思っております。

○**山本委員長** ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、45分まで休憩を。

午前10時35分 休憩

午前10時45分 再開

○**山本委員長** 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

それでは、140ページから147ページ、農林水産業費、農業費。

○**森本副委員長** 141ページの農地利用状況調査賃金なんですけど、内訳を教えてください。

○**坂本里海・里山課長** これは耕作放棄地の調査でございまして、5,000円掛ける4日掛ける25人という内容でございます。

○**森本副委員長** これは備前市全域ですよ。

○**坂本里海・里山課長** はい。

○**森本副委員長** その下の7農地利用状況調査図面作成委託料、毎年これ上がっているんですけど

ど、作成された後、どこがどう利用されて、何を検討されているのか教えてください。

○坂本里海・里山課長 これは、耕作放棄地の現況を把握するためにやる事業でございます。なるべく耕作放棄地をふやさないようにということで、まずは把握するところからということでこの調査、図面を作成いたしております。

○森本副委員長 最近、太陽光に変わるところも多いと思うんですけど、よく企業の方から言われるのは、備前市はそういう耕作放棄地をよみがえらせるつもりでいるのか、またそういう別の利用を考えているのか。市としてはどういう方針でいこうと考えておられるのかをお聞きしたいと思うんですけど。

○坂本里海・里山課長 農地につきましては、それぞれ1種、2種、3種というような形で区分がございまして、1種農地につきましては農振農用地ということで原則農地として守っていく。3種につきましては、用途区域が設定されている農地でございますので、その用途に合ったような形で行っていきますし、その他の分については現況に応じた形で、住宅化が進むのであれば転用は全然やぶさかじゃないといった考え方で進めております。

○森本副委員長 最近、住宅の端に放棄地があった場合、太陽光に変わる場合があったりして、住民の方がちょっとトラブルじゃないですけど、業者がいい業者なら判こをくださいみたいに訪ねてこられるところもあればないところもあるみたいに聞くんですけど、そういう情報は入ったりしていますか。

○坂本里海・里山課長 農地を転用する場合は、当然私どもの窓口を通じて転用の許可を出します。開発に伴うような大きな面積の分は、まち整備課からスタートになるんじゃないかと思えます。

○森本副委員長 じゃあ、農地の場合でそちらへ入った場合、本当に民家と隣接した場合の情報が入ったときはどういう対応をされているのか、されようと考えているのか、お尋ねしてもいいですか。

○坂本里海・里山課長 やはり農地転用ということになりますと、当然農業委員さん、それから地区の代表の方の承認が必要になりますので、その時点で地区にはおりにいくのかなというふう認識しております。

○森本副委員長 最近いろんな太陽光のトラブルがあるので、ちょっと気をつけていただきたいなあと思っています。もちろんそちらの課だけではないんですけど、まち整備課に関係するところも多いかと思うんですけど、市としてはやっぱりそういうトラブルが起きないようにしてあげなくてはいけないかなとは思っていますので、よろしくお願ひしたいと思えます。

○尾川委員 143ページ。いろいろ補助金とかあって、それで県、国も負担金ということでやっていきんですけど、備前市の農業政策、農業振興を補助金行政だけでやっていくという考えなのか、その辺をお聞きしたいんですけども。荒れ放題と言ったら語弊がある、きちっと守っていきようところもあるんですけど、その対応というのは市としてどういうふう考えていこう

としとんですかね。

○坂本里海・里山課長 基本的には、補助金に依存したような形で進めております。方針としては、やはりもうかる農業というような考え方で進めてはおりますので、それに対してはしっかり支援していきたいというふうに考えております。

○尾川委員 後継者の問題とか、それから大規模化とかいろいろな問題があると思うんですけど、やはりある程度地産地消というふうなことでやっていかんと、行き着くんじゃねえかな。なんもかんもよそから買ようたら金が出ていくという感覚で、地元で金を回せというふうな考え方というのが強うあって、もう最近、エネルギーなんかでも地産地消というてよそへ出さんようにせえという時代じゃから、少しそういう面で補助金行政だけじゃなしに新たな備前市として何か考えていくというのは部長、どんなんですかね。きちっと備前市の農業政策というのを考えてやってほしいんですけどなあ。

○中島まちづくり部長 これは本当に難しい問題だと思います。農振農用地につきましてはさまざまな手厚い補助がありまして、農地を維持していくといったことがありますし、それから先ほど言いましたように通常の耕作放棄地をどうするか、広がるのを抑えるということになりますと、やはり面積的に小さい。後継者がほとんどいない。もう一番は、そこでなかなか収益が上がらないということですよ。それと、天候に左右されやすく農作物の収穫が一定しないといったもろもろの条件があるとは思いますが。

そうした中で、農業政策をどういう形で進めていくかということは、本当に我々行政にとっても頭が痛い問題です。逆に言うと、今ある農振農用地をしっかりと確保して、その中で特にもうかるような農業、米以外に付加価値の高いような果樹とか野菜とか果物とか、そういったものに転嫁するというのも一つの方法かなというのもあるとは思いますが。

それと、この中にあります農地中間管理機構、いわゆるそういった農地を集約してそれをやりたいといった企業さんとか団体にお貸しするということで、そこで株式会社とか企業さんなんかはその農地を利用して野菜とか果物とかそういったものをつくる。それを、コンビニさんとかそういった市場のマーケットへ流通させていくといった形で進めていければ、これは将来的な大きな構想なんですけれども、そういった中で地元の農業をしたい人がそういった企業さん、いわゆるサラリーマン化、そういったところで働けるんじゃないかということで農地が維持できると。国としても、日本の自給率が非常に少ないといったことも言っておりますし、備前市の場合は本当に農地の面積がよその自治体と比べて非常に少ないと。昔から、工業都市といったイメージが非常に強うございます。近場で働ける方も、サラリーマンということで結構多くございます。そういったところもありますので、なかなか農業振興については難しいなというふうに我々も危惧しておりますけれども、先ほど課長も言いましたように、できる限りもうかるような、もうからないと農業は維持できないということがありますので、やはり生活できるような農業を進めるように取り組んでいければなと思っています。

○尾川委員 そういうことで、非常に難しい問題なんですけど、農業委員それからJAのほうでどういう対応をするのか検討しながら何か考えてもらいたい。具体的には、給食食材の自給自足というのを総社市がやっとなし、行政が取り組んで日銭を稼ぐと言ったら言葉が悪いけど、そういう形でもうかるもうかるというてそんなぬれ手にアワをつかむほどもうかるようなもの、今の時代ありゃへんしね。こつこつやっぱり地域で金を回すということを考えて、中期的な視野で、まず給食なんかの問題をJAと、どこから買よんか、学校給食における地場産物の使用割合自給率というて県の教育委員会がある程度は出しようるけど、あれも単純平均じゃしね。カロリー平均じゃなしに単純平均、品物の数で自給率を出すというんじゃから、本質的な自給率じゃねえとは思わんとんですけど、それはそれとして、そういう何か具体的な取り組みをぜひやってほしいなあ。食べるものを外国から買やあええ、よそから持ってきてりゃええという、それは安けりゃええというのもあるけど、やっぱり安全な食品という問題もあつたりするんで、ぜひその取り組みを、今お話があったプラスそういったことをやってほしいなあという気がするんですけど。

○中島まちづくり部長 今後、国とか県、地元、それから農家さんとかいろいろなところが、備前市ではフルーツパークもあつたり八塔寺の農園もあつたりします。そういったところと、しっかりとどういったもので農業を進めていくかというのも考えられると思いますし、それから今、包括連携で各大学とも締結しておりますので、そういったところも御意見を聞きながら取り組んでいきたいと思ひます。

○尾川委員 ぜひ、農業振興にも力を入れてください。

○守井委員 143ページの負担金補助及び交付金、農作物獣害防止施設設置補助金なんですけど、鳥獣害防止施設は何件で何キロぐらいだったんですか。

○坂本里海・里山課長 28年度、場所については吉永町今崎、多麻、それから三石の3地区でございます。

○守井委員 補助金85万円というのは、件数としたら何か金額的に少ないなあというような感じがあるんですが、27年度も50万円ほどですか。

○坂本里海・里山課長 はい。

○守井委員 だんだん、もう終了の方向へ行きよんですかね。今年度、何か長い延長を何か所かやるというような話もちよつと聞いたんですけど、いかがなんでしょう。

○坂本里海・里山課長 吉永町今崎で延長の長いのを、1件72万3,000円でございます。それから、不用額で幾らかあるんですけども、その分については29年度に回したというようなことで、決して縮小しているわけではございません。

○守井委員 柵を1遍したら5年は補助対象にならないということで、5年以上はもつので、かなり長い。電柵と鉄柵と両方あると思うんですけど、補助の要綱で3戸以上の場合に50%の補助というような話だったと思うんですけど、私らもう大体本当にしたいところはもう済んでしまっているんじゃないかなというような感じがするんですけど、大体済んであれば補助要綱を緩

和して、例えば2戸でできるとかいうことを考えなくちゃいけないんじゃないかと思うんですけど、その点はいかがですか。

○坂本里海・里山課長 基本的に、共同施工という形で3戸以上という考え方で進めておるんですけども、今後はそういったことも研究してまいりたいと思います。

○守井委員 少しでもそういう柵が、全体でできれば一番いいんでしょうけど、被害を少なくする方向で検討していただきたいと思います。また、そのほかのいい方法も検討していただきたいと思いますので、その意気込みはいかがでしょう。

○坂本里海・里山課長 委員の御提案のとおり、共同施工の考え方を初めとしまして、できるだけ被害に遭わないような形をとっていきたいと思います。

○守井委員 145ページの工事請負費で、不用額が出ているんですが、せっかく予算組みした半分近くのものがないというのとは何かなあ。やっぱり、いろいろなところでやってもらいたい単独事業にしてもあるんじゃないかと思うんですけど、それが不用額になってしまっているというのはどういう理由なんですかね。

○坂本里海・里山課長 この件につきましては、当初小規模土地改良事業として予定しておったんですけども、地元調整の関係もございまして事業が不採択のようなことで不用額ができてしまいました。それからまた、施工実績による執行残もあったんですけども、この辺は調整ができなかったということで不用額になってしまいました。申しわけございませんでした。

○守井委員 せっかく予算を組んだものが、できるだけ執行できないというようなことがないように、でしたら他の部署へ流用するというのをぜひ考えていただきたいと思いますので、その点よろしく願いいたします。

○尾川委員 145ページの旭東用排水組合負担金が増額しとんですけど、この理由はどういうところにあるんですか。

○坂本里海・里山課長 27年度と比較して20万円余り上がっているんですけど、これは大用水の土砂の撤去が影響して負担金が増えたと聞いております。

○尾川委員 これは備前市に関係ある。関係ねえということはねえわな。

○坂本里海・里山課長 あります。

○尾川委員 次に、吉井川・坂根合同堰も負担金が20万円弱増額しとんじやけど、吉井川のことでは備前市は外されとると思うんじや。外されとるというたら言葉が悪いけど。なのに、この負担金が増えるというのはどういうことなんじやろうかな。

○坂本里海・里山課長 坂根の合同堰の管理につきまして、備前市は外れておりませんので、備前市分としてそれに見合った負担金を支払っております。

○尾川委員 これは増額になっとんじや、少しやけどな。水量によって違うん、取り込み量によって。

○坂本里海・里山課長 管理費でございまして、工事等を行った場合にやはり負担が増える

ということでございます。4市1町で負担しているものでございます。

○尾川委員 今ちょっと要らん話をしたんじゃないけど、吉井川流域何とかじゃあ備前市が外されて、それは水がなかったら人間生きていけないけど、話ぐれえ一緒にさせてくれというてお願いせえでもええけど、加えてもらうように部長らどう思うとんか知らんけど、そういうことがあったと思うんじゃ、たしか。一遍調べてみて、和気町と瀬戸内市で、要するに備前市は外れとる。

○中島まちづくり部長 本当に、吉井川流域ということで備前市も坂根の部分で接しております。水も、しっかりそこから取水しているということで、吉井川につきましては備前市としては切っても切れない重要な河川であるといったことから、今後、吉井川流域ということでさまざまな取り組み、計画、事業等がありましたら、ぜひ備前市もそれに参加して進めていきたいと思っております。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次に、146から149ページ、農林水産業費、林業費です。

○尾川委員 147ページの八塔寺ふるさと農園の指定管理料が450万円、500万円のときがあったと思うんじゃないけど、ずっと続いとんじゃが、本当にこれが450万円の価値があるのかな、備前市民にとって。どういう評価しとんかな。今後どう考えていこうとしとんかお聞きしたいですけど。

○金藤吉永総合支所長 八塔寺ふるさと農園につきましては、御存じのように施設管理公社のほうに委託をしております。今、ブドウであるとか梨であるとかその他、サツマイモ等を栽培して販売等をしてしておりますが、栽培と販売に終始することなく、本来でいえば観光客等にいかに来ていただくかということが本筋ではなからうかと思えます。その点については、今の段階では少し欠けているのかなというところもございますので、これからそのあたりについて指定管理者と協議をしながら進めていきたいと思っております。

○尾川委員 やめることばあ思うんじゃないんですけど、やっぱり農地としていろんな都会の人に貸してやるような構想もあったと思うんじゃ。今はちょっと目的が違ってくると思うんで、その辺を450万円がええんか、安うすりゃええというものじゃねえんですけど一工夫したりして今後の問題に取り組んでほしいと思うんですけどね。本当にこれ、450万円で収支が合わん、人件費が出んという考え方もようわかるんじゃないけど、450万円の価値があるんかと。人を雇うたんと一緒じゃけえね、1人か2人かわからんけど、1人かもわからんですけど、人件費とすりゃあ450万円で、どんな今後の方針かなというのをお聞きしたいんですけど。

○金藤吉永総合支所長 さっきも申しましたように、最初にこれができましたのが地域の活性化ということを目的としてできております。三国地区の方、特に八塔寺についてはあそこが玄関口になりますので、ふるさと農園についてはますます盛んになるように指定管理者とよく協議しながら進めていきたいと考えております。

○石原委員 149ページの委託料、生活環境保全林管理委託料なんですけど、この管理をなされている範囲であったり、どういう管理業務なのか。

○坂本里海・里山課長 この管理委託につきましては2カ所でございます、1カ所は伊部大滝山周辺の維持管理委託147万9,600円、これにつきましては大滝山周辺の遊歩道、防火道、林道、草刈り等の業務を委託しております。面積については11.06ヘクタールとなっております。2つ目は南方森林公園の維持管理の委託91万8,000円です。公園の面積は43.87ヘクタールということでございます。

○石原委員 その2つ下、保健保安林の管理委託料は、同様の質問なんですけれども。

○金藤吉永総合支所長 こちらにつきましては、吉永町南方地区、大池にB&Gの艇庫があると思います。その南側に当たる森林でございます、面積は59ヘクタールでございます。これを年1回、遊歩道等、1.5キロ程度なんですけど、草刈り等をしていただいております。

○石原委員 その2つ下、森林関連の巡視委託料というのは、ここで言う森林というのはどういった範囲のものなんでしょうか。

○金藤吉永総合支所長 旧吉永地域の森林につきまして順次監視をしております。月に4回以上巡視ということで、特に雨が降った後の様子であるとか、不法投棄であるとか、その辺について月4日以上巡視をしていただいて、林道等に支障木等がありましたら撤去可能な範囲で撤去をしていただいているというようなことでございます。

○石原委員 旧吉永町のみで、ほかの旧備前市であったり旧日生町であったりというところはこういう業務は行われてないんでしょうか。

○金藤吉永総合支所長 今のところ旧吉永町だけということで、吉永にはそういう作業員というものがおりません。そういう役目も果たしてもらっているのかなと考えております。

○石原委員 吉永ですから特に山も多い地域でしょうけど、別にこういった業務が旧備前市、旧日生町で行われてなくても今のところ支障はないんですかね。それは、災害時等はその都度巡視されたりするんでしょうけど。今後、市全域についてどういようなお考えか。支障がなけりゃええんですけど、吉永だけでというのもどうなんかな。備前市中あちこち傷んだり荒廃したりしていますけど、森林管理についてちょっとお聞かせいただければ。

○坂本里海・里山課長 ここで言う森林というのは、杉やヒノキでございますので、分収林とか財産になるような、最初から植栽しているような森林を基本的には巡視していくということなので、吉永地区が大半で、閑谷はありますけれども、閑谷は市の管理という形でこういう経緯になったんじゃないかなと思います。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次に、148ページから151ページ、農林水産業費、水産業費で。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、150ページから157ページ、商工費。

○守井委員 153ページ、商工振興費の負担金補助及び交付金で、住宅リフォーム助成振興券交付事業の件数がわかればまず教えていただけたらと思います。

○田原シティセールス推進課長 149件で、交付金額が3,385万9,000円です。

○守井委員 それで、今年度補正してまたふやすというようなことになっていると思うんですけど、何件ぐらいの予定なんですかね。

○田原シティセールス推進課長 9月末で133件、交付金額の見込みとしては6,175万円でした。

○守井委員 続いて、企業立地促進奨励金、どこどこに奨励されたか、わかればお願いいたします。

○田原シティセールス推進課長 株式会社ノブハラさんとコーワン、コスモスさんでございます。

○尾川委員 市長がかわって、今後の市長の考え方というのはどうなのか。商工会議所やセラミックセンターとか、いろいろそういう補助金の問題等について、来年どのような予算を考えるとかなあと思って。予算要求もぼちぼちまとめていくんじゃないかと思うんで。

○中島まちづくり部長 いろんな過去の経緯等ございますけれども、予算要求、予算査定等もまだ始まっておりませんが、今後につきましては今までの考え方ではなくて、新しい市長がどういうふうに考えられているかといったことは、今後そういった査定の中で明らかになってくるんじゃないかなあと思います。議員さんのときには、商工会議所、商工会の補助金については前の少ない金額、500万円じゃだめだというような見解も持っておられましょし、それからセラミックセンターにつきましても、やはり100万円というのはどうかなというようなお話もちらほら聞いておりますので、我々としてはその補助を受けるに当たってきちっとこういうものをしていってこういう支援をいただきたいとか、そういったものを今後しっかり詰めていって市長へ要求をしていきたいと、担当部署としてはそう考えております。

○尾川委員 先方にしたら備前市はどういうことをしてほしいかということ、それでこういうことをしたいからこういう予算をくださいと。やはり市としては、ただ補助金を出すんじゃないし、こういう事業をいろんな団体にしてほしいということを明確に伝えてもらいたいと思うんです。それが担当者も何をしてええんかわからんというようじゃあ全然前へ行かん話なんで、やっぱり担当者にも勉強してもらって、どういうことを市としてしてほしいのかを明確にして、それをしてくれたらこれだけ出すぞというふうな働きかけというのを、商工会議所にしても観光協会にしても、何をしてもらってえかということをやったり市が明確に示すべきじゃないかという感じがするんですよ。なかなか難しいけど、それはやっぱり市をどういう方向へ持っていかうかというものを考えて、向こうも市のことばかり考えよりゃへんから、そこら辺の会社と一緒にすわ。会社がもうかることを考えようわけじゃから。それに対して、市としてはこういうことを

してくれと。それで、こういうことをしてくれたらこれだけ出すよというふうな持っていき方をね。ただ、ふやせふやせじゃなしにそういうふうにやっていってもらわんと。ただ、人件費が足らんから出せ、そういう団体と、あるいはプラスアルファでそういう新しいものをつくっていかうとしとるといふのがあるんか。それと、例えば国の事業で補助を受けてやったところだってもうパンクしとるところがあったり、やめたりするところも結構あるんで、それもフォローもしながら、やっぱり何をしてほしいかということを確認してほしいと思うんですけどな。難しい注文じゃけど。

○中島まちづくり部長 我々もそういったことは、商工会議所、商工会等にもしっかりと伝えております。やはり、そういった団体は、地元の中小企業をしっかりと支援していく、守っていくというのが大本命の使命だと思います。今我々がお願いしているのは、そういった企業さん方の技術支援をするとか、ある程度雇用を確保していただきたいとか、そういったことをいつもお願いしております。私どもも、ただ補助金を出すからといったようなことは決してしておりません。2カ月に1回ほど、連絡会議を開いて、今後どういった政策をして、市のほうとしてはこういふことをしてほしいとか、それから向こうとしてはこういふところに支援をしてほしいとかといった話も絶えずやっております。ことし、創業支援といったものも新たにつくりました。そういった話の中で、やっぱり1人でも2人でもその中小企業、あるいは地域のそういったお店を出される方とか、備前で起業をしたい人とか、そういったものをバックアップするような制度をつくっていかうかなという話も実際にはしております。なかなか実現化というのは難しいかとは思いますが、そういったいろんなことをやりながら、少しずつ備前の地域のために少しでも活性化になればといったことで協議はしております。

○尾川委員 同じ話になるんですけど、ぜひ足を運んでもらうて、そのノウハウを活用するということをやってもらいてえと思う。市にとって何が必要なのか、相手は何を持つとるかという。やっぱり市のことばかり考えりゃへんのやから、そういうことで市にどう貢献してもらって今言う雇用開発ができるか、あるいはいろんな人が住んでくれるとかということにつないでいく。平素から情報をとって、なかなかそれは今、本社が強うなるとるから、どこの会社も、本社の顔ばあ見て動くようになるから、その辺を特によう連携してもらってやってほしいなというのがあるんですけど。陳情に来るとか来んとかじゃなしにね。やはり、そういうやり方をせんと地域というの活性化せんと思う。ただ、これ、去年はすったもんだ、金額がああじゃこうじゃというてもめるばあしてね。そんなことだけは避けてほしいなと思う。

○中島まちづくり部長 尾川委員さんの言われるように、我々もしっかりとハローワークさん、それから商工会議所、商工会、そういった関係の方と密に連絡をとりながら進めていきたいと。現に進めていっているんですけども、より深く協議をしながら進めていこうというふうに思っております。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次に、156、157ページ、土木費、土木管理費で何か。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

156ページ、161ページ、土木費、道路橋梁費で何か。

○尾川委員 159ページの国道2号整備促進期成会負担金は16万円で何か減額しとんですけど、これも減額するばあでもいけんし、もっと課題で陳情するのがええか悪いかというとやっぱり陳情しに行かにゃあ意見が通らんというふうなところもあるので、ようけえ金がたまっとるから削っとるんじゃないと思うけど、16万円に減した理由を教えてくださいんですけど。

○淵本まち整備課長 おっしゃられたとおり、期成会の中で若干お金に残りが出てきておりますので、20万円から16万円に昨年度から減にしております。

○尾川委員 要は、この期成会に入って何とか備前市にプラスになるように要望活動をぜひやってほしいんです。具体的に言うたら、備前大橋の渋滞の問題とか、やっぱり備前市としてはそういった課題をどんどん言うてもらうて、遠慮せずに。その辺の課題に取り組んでほしいんですけど。

○淵本まち整備課長 要望活動として広島、東京、それから岡山国道事務所にも伺っております。現在、備前市内で実施されている事業につきましては遮音壁、防音性の舗装、それから歩道の新設を、香登のあたりを中心に用地買収のできたところからやっていっている状況です。そういう中で、今後も毎年要望は続けていきたいと考えています。

○尾川委員 備前大橋の渋滞やこうは、どういう認識をしとん。

○淵本まち整備課長 備前大橋につきましては、国から今年度お伺いしておりますのは、橋の岡山側の交差点を改良するというので設計に入るというふうに、今年度要望のときにはお伺いしております。

○尾川委員 ぜひ、そういうぐあいに先へ先へ行って期成会を引っ張っていくぐらいにやってほしいと思うんです。

○守井委員 その上の道路河川等ボランティア推進事業補助金、アダプトだろうと思うんですけど、28年度は何団体の申請があったんですか。

○淵本まち整備課長 28年度は62団体でございます。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次に、160ページから163ページ、土木費、河川費で。

○尾川委員 全体的な話なんだけど、草刈り作業の取り組み、市のことも国道沿いも、あるいはJRの赤穂線も含めて、取り組んでくれるところと、前向きに要望すりゃあしてくれよんかどうか。市としても市道の管理をどういう考え方で、予算取りの問題もあるので、特に各道に木が覆ってきとるといのがかなり樹木が道路へ出てきとるケースが多いんです。そういうことについて

ての考え方というのは、備前市としては国道も市道も含めてどういうふうな取り組みの考えなんかな。言うてきたところだけ対応すんか、それとももう先手を打って大体ここら辺をやっていくというように計画的にやっていく考えなんか。ちょっとその辺を教えてほしいんですけど、来年の予算もあると思うんでね。

○淵本まち整備課長 これも、国道におきまして市道におきまして同じでございまして、過去はやっぱり年に2回ぐらいは草刈りができるぐらいの予算をどこともが持っていました。そういう中で、どんどん予算が削減されていく中で、草刈りも今はせいぜい年に1回ができるぐらいの状況になってきています。そういう中で、委員ももちろんおっしゃられるように、とりあえず通れるところだけは何とか刈って、あとその上空に出てきているところまで正直手が回っていないというのがもう実情です。

○尾川委員 来年度の予算で一遍に全部というたら、それは木を切ったりするのは前向きな話じゃねえ、目立たんしね。人に物をやったりするほうが目に見えてええし、やっぱりそういうところのものを、この間JRへ言うたら結構してくれてな。やっぱりこつこつ言うたり、それからこういう長期的な視野で、道路の縁だけじゃなしに回ってみられえ、かなり木がどんどん出てきとるわ。そういう対応をやっぱり考えてほしいんですけどな。

○淵本まち整備課長 ぜひ、新年度、予算要求したいと思います。

○川崎委員 橋梁点検委託料4,300万円というのは相当大的な金額だと思いますけど、何カ所ぐらい調査したんかということと、その中で最も重点的にやらねばならない橋というのはどういふところであったのかというのをわかるとるんであればお聞きしたいと思います。

○淵本まち整備課長 28年度につきましては、済みません、237橋を実施しております。

まず、点検なんですけども、国のほうの基準で5年に1回というのが定められておりますので、備前市におきましては502橋あるものを順次やっていっているということでございます。そういう中で、今のところ措置を講ずる必要があると判断された橋は26橋ということになっております。

○川崎委員 だから、中でも最も悪かった橋はどこかなというて聞きよん。

○淵本まち整備課長 現在では、早急に処置すべき橋梁についてはございません。

○川崎委員 26カ所のうち、5年に1度でまだまだ5年、10年しなくてええの。

○淵本まち整備課長 5年に1度やっていかないといけませんので、その26橋につきましても5年ごとにはやっていくという形になります。

○川崎委員 やるけれども、いつから工事というのはないんですか。

○淵本まち整備課長 それは現時点では措置を講ずる必要があるという判断になっておりますので、工事としては今後上げていく必要があると思います。

○川崎委員 伊里川をいつも通らしてもらよんじゃけど、不安な感じを受けとんじゃけど、国道で関係ないの。

○**淵本まち整備課長** 伊里川の国道250号につきましては県の管理になります。

○**川崎委員** それは5年に1度の点検の対象じゃないん。

○**淵本まち整備課長** 県の橋梁につきましても、同じく5年に1度の点検の対象になります。県が行うようになります。

○**川崎委員** それで、伊里川のところは何かぼろぼろになって鉄筋がはみ出したりしたような感じになつとるから、少し塗り替えかしたようなんやけどな。やっぱり、あそこらこそ抜本的に橋の幅を広げるといふか、南は家があるから無理だったら北側へ少し広げたら歩行者も通りやすい。おかしいでしょう。ずっと土手は、ほとんど歩く人は南側を歩くんです。ところが、橋のところだけ北側、小学校用の通学用の道路、あれを歩道にしとんじやろうけど、南側にないというのはどう考えてもおかしいなと。そういうのがまともに検査したときに少し早目に予算を、どうせ修理するならね。手すりをきれいにするのもええんやけど、手すり全部きれいにするよりは全部取り除いて、少し北側へやるんか、川の上だけでもあの歩道を南側にするとか。何か備前市というのはやつとることがもう全然、岡山県が悪いのかどうか知らんけどね。ほとんど歩道がないわけでしょう。だから、そういうのも含めて、橋のところだけでも広げて歩道をつくつとけば道路も歩道をしようとかそういう話になるんじやけど。点検というのは全く構造上の点検だけでそういう利便性の点検というのはないんでしょうか。

○**淵本まち整備課長** 橋梁点検につきましては、もう構造上に問題があるかどうかという点検になります。

○**川崎委員** しつこく聞きますけど、この5年以内にやらなければならない橋というのはないという理解でよろしいんでしょうか。

○**淵本まち整備課長** 措置を講ずる必要があるということで26件ございますので、そちらにつきましましては順次やっていく必要があると思います。

○**川崎委員** 結構です。

○**山本委員長** ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次に、162ページ、163ページ、土木費、港湾費で。

○**川崎委員** 河川改良工事で3,900万円とか、河川補修工事で1,000万円とか出ていますけど、日生の新橋のところの駐車場、あれなんかは危険なかどうかというて私ら素人が見たら鉄、板がちょっと曲がつとるだけで、安全性はいいんじゃないかなあと思ったりしているんですけど、もうとめて大分なりますよね。あそこらはどう考えているんでしょうかね。

○**淵本まち整備課長** 新橋の鉄板のところにつきましては、コンサルタントにいわゆる点検業務という形で発注をさせていただいています。その結果によりまして、今後そのまま継続して使うのか、もう撤去するのがいいのかを判断するようにしております。

○**川崎委員** もうとめて、車を排除していますので、私は前から一貫して言よんですけど、流川

と同じ方式というか、道路と同じ高さでブロック型のやつを川の半分ぐらい出して、せめて、ちょうど旧げた屋さん、あそこも川の上へ家が建つような状態で、昔のことでしょうがないんですけど、せつかくこういう機会なので、確実に道路を広げると同時に、水の流れをね。今のやり方だったら、あれはたしかH鋼の高さが30センチぐらいあるんですか。だから、川の高さが30センチ低くなっていますよね、実際。ところが、流川で使用されているブロックは非常に薄くて強度なセメントらしいんですけど、ああいうブロック方式でやって道路は目いっぱい使い、あとは歩道も全部やってくれということなら全部やってまた駐車場へ何台か置けるようにするとかね。少しそういう日生の将来を考えたときに、子供たちにどういうまちづくりがいいのかという見本にさせていただきたいなあというのがあります。特に、あそこは日常的に海水がちょうどあのげたさんの辺まで来ますよね。でも、そこまでは流川とほとんど同じような状況があるので、そういう薄くて強固でより河川の流れを妨げず、上の空間を利用できるという点では、何でせつかく備前市になっていい例がありながらそういう例を日生で適用していただけないのかなというのを率直に思うとんですよ。同じ河川改修なら、それこそ潮が来ればますますさびるといのが悪循環ですけど、ああいうコンクリートブロックを確実にやっていただいたら、本当に必要ところはそういうことでやって、流れは今まで以上に確保できながら上を利用できるということの実例を見せていただけたら一番いいんじゃないか。そして、そうすればあそこも歩行者が裏道を通らなくても直接250号を通過して町中へ出入りできると。コンビニもできたとし、買いに行くにもあの駐車場がとまっているために250号を通らざるを得ないんですよ。だから、旧石橋の辺まで全部そういう方式でやれば安全にコンビニまででも行けるし、三軒屋の人は町中へ安全に来られる。それはずっと中小路の中道で通れば別ですけど、中小路は川向の地区にとっては関係ないわけですよ。やっぱり中州川をうまく利用して通るかということがあるので。そういう考えでできませんかね。中州川ができてできないということになったら完全な地域的差別と考えるざるを得ないですよ。だから、せつかくああいうことでストップかけているんだったらもう鉄板はやめてほしいと。流川と一緒に、海水が来るところは鉄板を利用したというのは、長期に維持できないということはもうはっきりしているわけですから。ああいうやり方をしていただいたら50年か100年は最低何もしなくていいというやり方を、ぜひ検討していただきたいと思いますがいかがでしょうか。

○淵本まち整備課長 流川の構造を余り深くは知らないんですけども。

○川崎委員 見とって、ぜひ。

○淵本まち整備課長 はい、ぜひ検討させていただきます。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次に、162ページ、土木港湾、162、163ページ、港湾費。

○尾川委員 163ページの急傾斜地崩壊対策事業県工事負担金は何カ所ですか。それと場所は

どこですか。

○淵本まち整備課長 三石の五石地区1カ所になります。

○尾川委員 それで、工事は28年度で終わり。

○淵本まち整備課長 いや、こちらにつきましてはこれからの事業になろうかと思えます。

○尾川委員 それと、これからの事業で新たな急傾斜地というのはどういうふうに対応していこうととるわけ。

○淵本まち整備課長 新たなところとありますが、県にやっていただく事業なんですけども、県も一度に備前市で何か所もというのはちょっとという言い方をいつもされまして、どうしてもここが終わったら次の要望箇所へというふうな形へ移っていくのがもう実情になっております。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次に、162から167ページ、土木費、都市計画費。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次に、166ページ、167ページ、土木費、住宅費で何か。

○尾川委員 市営住宅の管理人報酬9万円ですけど、これが上下するというのはどういう理由なんですか。それと、どこの管理、管理内容について。

○淵本まち整備課長 28年度は15名が管理人になっていただいております。お一方6,000円ということで、9万円ということになっております。管理人につきましては、市営住宅住民の方への市からの連絡の回覧ですとかあとはポスティング、それから報告関係をやっていただくということで、28年度については15名の方がなっていました。

○尾川委員 わずかな金額なんじゃけど、27年度は8万9,500円じゃったと思うんじゃ。その500円の差があったり、何でそんな半端が出てくるんかな。

○淵本まち整備課長 27年度は、お一人が2月に亡くなられていまして、その関係で1カ月分お支払いしてないということで金額に差が出ております。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは1個。

〔委員長交代〕

○森本副委員長 委員長かわります。

○山本委員長 市営住宅で、もう亡くなって2年も3年も荷物をじっと置いたままとか、名義人が2軒も借るとりというたりして地元では聞くけど、あれはもう死んでから何年も荷物をかわさんでも市じゃからよう放り捨てんからというたりするようなのは前へ進んでおるんですかな。あいつもったいねえ。貸してもらってえ人がおる。

○淵本まち整備課長 済みません、ちょっとその点に関しましてはわかりません。調べます。

○山本委員長 もう3年ぐらい前からずっとそんな感じがあります。ぜひ、どうか話をして荷物を持って帰ってもらおうとかというようなことで前に進めてもらえたらと思います。

○淵本まち整備課長 対応していきたいと思います。

○山本委員長 よろしくをお願いします。

○森本副委員長 委員長をかわります。

〔委員長交代〕

○山本委員長 それでは、ないようでしたら次の166ページ、167ページ、土木費、住宅費、宅地造成分譲事業で何か。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、202ページ、203ページ、災害復旧費、農林水産施設災害復旧費で何か。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、204ページ、205ページ、積立金、大ケ池管理基金積立金、中山間地域保全基金積立金で何か。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、全体で何か言い残しがありましたら。

○守井委員 住宅の関係なんですけど、滞納の関係もあるんですけど、それぞれの市営住宅の入居率がどのくらいかなあとっておるんです。大内なんかは、ある程度壊したということで数は減っているんじゃないかと思うんで、それぞれ何戸あって何%入居しておりますよという、特定賃貸もあわせて一覧表をいただけたらありがたいなと思うんで、準備できますでしょうか。総括まで結構ですけど。

○淵本まち整備課長 はい、準備させていただきます。

○守井委員 お願いします。

○山本委員長 ほかにありませんかな。

○尾川委員 鳥獣対策の関係で、これはまた決算と違うと言われるかもわからんけど、猿が結構出没してその対応をしっかりとってくれると言われるんですが、その辺の対応というのは考えとんですか。

○坂本里海・里山課長 猿はなかなか処理が難しい内容でございまして、追い払うしかないというのが現実的な話なんです。民家におるからというてなかなか捕獲するわけにもいきませんし、鉄砲で撃つわけにもいきませんので、逃げていくまで見守って危害を市民に及ぼすようなことがあれば警察なんかと協力しながら猟友会の皆さんと一緒に活動して捕獲するような、そういった形になろうかと思えます。

○尾川委員 なら、そのくれえの話しかできんわけかな。

○坂本里海・里山課長 はい。

○尾川委員 よう出歩くんじゃ、片上の辺は。困りようる。それで、子供が出たときに出てくるようなね。鳥獣と決算と関係なかろうがと言うけど、その辺の対応をね。鳥獣、結構まだ出るといって苦情ばあ言われるんでね。その取り組みをしっかりとしてほしいんですけど。

○坂本里海・里山課長 猿の対応につきましては、猟友会の会長さんあたりと協議をして今後の対応も考えてみたいと思います。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、以上で本分科会所管部分のうち、まちづくり部ほか関係の審査を終了します。

以上で予算決算審査委員会総務産業分科会を閉会いたします。

午後0時10分 閉会